

ほけんだより



令和3年1月22日
広神東小学校 保健室

3学期がスタートして、2週間が過ぎました。今年は昨年とは一転し、雪の多い冬となっていますが、子どもたちは外でスキーをしたり、雪遊びを楽しんでいます。

新潟県内では新型コロナウイルス感染症の警報が引き続いて出されていますが、学校では欠席も少なく、元気に登校できていることをうれしく思います。

市内保育園では、ノロウイルス等の胃腸炎の発生が報告されています。新型コロナウイルスとともに、胃腸炎等の感染症の予防にも心がけ、引き続き「朝の体温・体調チェック」「マスク」「手洗い」等の予防対策をお願いいたします。

「健康カード」の確認と「食物アレルギー調査票」の記入について

お子さんの健康状態を確認いただくために、「健康カード」を持ち帰ります。中を確認いただきましたら、保護者印欄（見た印欄）に押印（サイン）をお願いいたします。

また、「食物アレルギー調査票」については、来年度の学年の欄に記入・押印いただき、健康カードと共に提出をお願いいたします。



提出は1月27日（水）までをお願いいたします。

【「発育測定結果のお知らせ」について】

発育測定結果からデータを入力し、疾病・異常の早期発見に努めています。1・2学期にも注意が必要なお子さん、また、受診が必要なお子さんにはお知らせをしました。3学期にも同様にお知らせをしています。お届けしたグラフを確認いただき、ご家庭での生活習慣改善について親子で話し合ってください。受診が必要な場合は、専門医にご相談ください。

【広神東小学校 3学期 学年・男女別平均と4月からの増加量の平均】

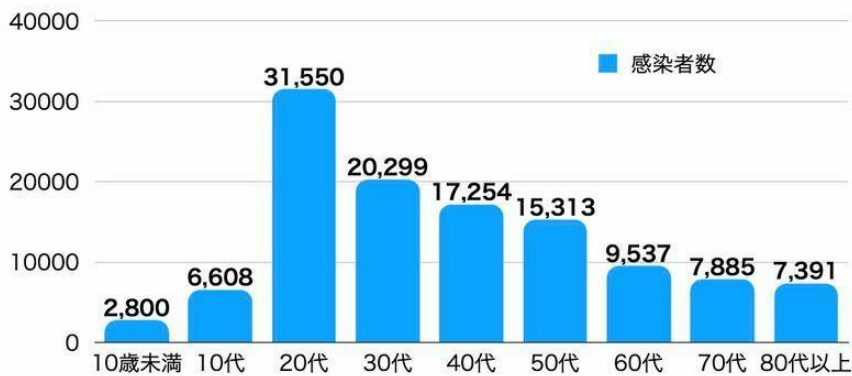
	身長 (cm)				体重 (kg)			
	男 子		女 子		男 子		女 子	
	平均	増加	平均	増加	平均	増加	平均	増加
1	122.8	4.8	119.2	5.0	26.0	2.0	22.6	2.4
2	127.4	4.4	125.5	4.8	27.1	2.6	24.8	2.8
3	129.9	4.0	133.0	5.1	29.2	3.1	31.6	4.3
4	139.3	4.7	139.6	6.0	35.1	1.8	32.6	2.5
5	143.8	5.5	145.3	5.6	37.6	3.4	38.7	4.3
6	152.2	6.3	150.6	4.9	44.1	3.3	39.9	4.2

〇あくまでも平均ですが、体重増加量が平均を大きく上回る場合は肥満に傾きやすくなるため、注意が必要です。



子どもと新型コロナウイルス感染症のポイント

子どもは大人と比べると新型コロナ感染者が少ない

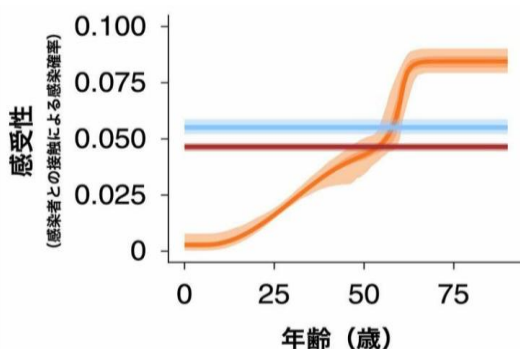


日本国内の年齢別の新型コロナ感染者数（厚生労働省、令和2年11月18日18時時点）

厚生労働省の発表している年齢別の感染者数では20代が最も多く、10代未満、次いで10代が最も少なくなっています。



子どもは感染しにくく、感染しても無症状になりやすい



感染者との接触による感染の違いをみると、年齢が低いほど感受性（感染しやすさ）が低く、年齢が高くなるにしたがって、感染しやすくなることがわかります。成人と比べて感染しにくい可能性が示唆されています。子どもは成人例と比べて軽症で、死亡例は少なくなっています。



子どもが感染源になることは大人と比べて少ない

子どもが感染源となる可能性はありますが、大人と比べて高くありません。子どもが感染しないように注意するためには、大人が感染しないことが重要です。大半の子どもの感染例はその親からの感染であることがわかっています。日本小児科学会では約75%の子どもの感染症例が親からの感染であると報告しています。つまり、子どもたちの間で流行が広がるというよりも、大人が外から家庭内にウイルスを持ち帰り、子どもに感染させていることの方が多いというのが実情です。子どもに感染させないためには、大人が職場や会食などで感染して、家庭内に持ち込まないことが重要です。

（参考：日本小児科学会 小児のコロナウイルス感染症に関する医学的知見の現状）